

AG PRESS

大学だより

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

May. 2019 [vol.211]



[特集]

Hello! GLOBAL CAMPUS

TOP MESSAGE

新年度挨拶

就任挨拶

新任教員紹介

シューカツの現場から

就職先の決め手は?

さくらテラスと芝生広場 (日進キャンパス)

フードコートやダイニングフロアを備えるさくらテラスへと続く道。ランチタイムには、お腹を空かせた学生たちが行き交い活気を帯びます。天気の良い日には芝生広場でお弁当を広げる人も。清々しいキャンパスの日常風景です。



巻頭言 新年度挨拶

TOP MESSAGE



自分の可能性に さらなる挑戦を!!

愛知学院大学 学長

愛知学院大学短期大学部 学長 佐藤 悦成

学びを通して
自己を高めよう

桜花爛漫の佳き日に新入学生の皆さんを
本学にお迎えできました。ご入学を心よりお
慶び申し上げます。愛知学院は本年創立
143周年を迎え、「行学一体・報恩感謝」の
建学の精神を堅持しつつ、「知の習得・実践と
ともに、周囲への感謝を忘れず、協働の場
でリーダーシップを発揮できる」人材の育成に努
力しています。

本学では教育改革を継続的に進めつつあ
り、昨年より名城公園キャンパスの拡充に着手
して、大学力の一層の向上に努力しています。
2020年には商学部・経営学部・経済学部・
法学部の4学部を配した、社会科学領域の教
育と研究の拠点として完成の予定です。

また、グローバル化の進む現代において、洞察
力、実行力、創造力を養いつつ、豊かな人間性
と高い倫理観を兼ね備え、広い教養と深い専
門知識を修得して、社会に貢献できる人材育
成が本学での教育の基盤と考えています。

本学に学ぶ皆さんには、大学での学びを通
じて人として成長していただきたいのです。現
代社会においては、自ら学び続ける「自己教育
力」がなければ、刻々と移り変わる状況につい
ていくことは困難です。しかし、考える基礎を
築く時間の余裕は、大学時代以外には、ほとん
どありません。柔軟で寛容な心を持って、知識
偏重に陥ることなく、自分で常に考えてほしい
と願っています。

現代における情報の増加は、ただ知ること
で満足し、自ら考えないという弊害をもたらし
ました。溢れる情報を取捨選択し、真実を見
極める力をつけるのが、大学での学びの基本で
す。「世界の多様性を知り、お互いを認め合
う」ことが今の時代には必要です。多様な価
値観が混在しているからこそ、広い視野でお互
いの理解を深めることに努力して下さい。

自分の意見を国際社会で主張できる論理
的思考力や、積極性・自主性を大学時代に習
得していただきたいと思っています。これから、
生涯の中でも特に貴重な4年間を、どのよう
に過ごすかを決めるのは皆さん自身です。充
実した時間とよき経験を豊かに蓄え努力を重
ねて、悔いのない充実した大学生活を過ごし
て下さい。本学での学びが、皆さんの未来の、確
固とした基盤になることを願っています。



自らの可能性に 挑戦して欲しい

愛知学院大学
副学長(教務担当)
引田 弘道

新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。4年間、あるいは6年間の大学生活は、とても貴重な時間です。ぜひ有意義に活用して頂きたく願っています。大学の学びは、専門知識を吸収するだけではなく、社会に通用する総合的な人間力を高めることにあります。グローバル化が進み、人工知能が私たち人間の領域にどんどん入り込んでいる今、急激な社会の変化に対応できるのは、皆さんの柔軟な適応力しかありません。大学生活では、積極的に授業に取り組むことはもちろん、クラブ活動に汗を流し、ボランティア活動で社会に役立つ喜びを実感してください。多様な活動を通し、他者との協働の場で皆さん自身の可能性に挑戦して頂きたいと期待しております。



未来を担う人材を めざしてください

学校法人 愛知学院
理事長
山本 健善

新緑を迎えるこの季節、新入生の皆さん、また新年度を迎えた在学生の皆さんは、希望と不安に満ちた日々を過ごしていることでしょう。これから愛知学院大学で過ごす中で、10年後、20年後の社会を変えていけるような人へと成長してください。そのための環境を我々は、精一杯整えていきます。我が校の建学の精神は、「行学一体」「報恩感謝」の精神です。知識を得るだけでなく、数々の実践を通して感謝や慈しみの心を持つ人になってください。みなさんの学生生活が充実したものとなり、そして愛知学院大学が光輝き、教職員はじめ全学生、さらには保護者の皆さまが胸に誇りを抱ける学院となるよう、共に力を合わせていきましょう。未来を変えるのは君たちです。



名城公園キャンパスを 社会科学教育・研究の 拠点に

愛知学院大学
副学長(名城公園キャンパス担当)
後藤 俊明

今年も多くの新入生を迎えて新年度が始まりました。学生諸君はそれぞれに思いを新たに新年度を迎えたことでしょう。自らの目標を高く掲げ、その実現に向かってたゆむことなく努力を重ねていくことを期待します。現在、名城公園キャンパス第二期整備事業が来春の完成に向けて進行中です。来年4月からは、法学部全学年次と商経・経済学部1年次も名城公園キャンパスでの学びを開始する予定です。理論知と実践知の融合による社会科学の総合的な総合知の修得を目標として、学修環境の整備と地域連携のさらなる深化を図るとともに、本学における社会科学の拠点を構築してまいります。解決すべき課題はなお少なくなく、関係各位のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。



充実した環境で より良い学生生活を

愛知学院大学
副学長(学生支援担当)
高木 敬一

新入生の皆さんは、決意新たに新年度をお迎えのことと存じます。昨年度、学生生活、特に課外活動に関して大きな変化がありました。ひとつは、名城公園キャンパス(MKC)で、課外活動を目的とした学生団体の設立が認められたことです。そのため、法学部等のMKC移転に伴う工事により環境整備が図られます。そしてもうひとつは、新たに設立された大学スポーツ協会(UNIVAS)に加入したことです。これにより、UNIVASが対象とする競技系運動クラブは他のクラブ等と区別して統括・管理されることになりませんが、それに伴う制度見直しを本年度中に行う予定です。今後も、より良い学生生活の実現を目指して努力してまいります。皆様のご協力をお願い致します。

Hello!

GLOBAL
CAMPUS

国際交流センター

Center For International Programs (CIP)

学生たちが世界へ飛び立つためのグローバルな学びを後押ししている愛知学院大学。その中心的存在が国際交流センターです。海外留学や語学研修、グローバル人材育成プログラムのほか、学内での国際交流の場づくりにも力を入れ、「グローバルキャンパス」を推進しています。

留学生交流
ボランティア

毎秋約10日間、マレーシアのトゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 (UTAR) の学生が、日本語・文化研修のため本学 (AGU) にやってきます。彼らの滞在中、学内外でさまざまなサポートを行うのがAGUのボランティア学生たち。多文化社会に生きるマレーシアの学生と、お互いの母語ではない英語を通じてコミュニケーションします。多様な言語・文化的背景を持つUTARの学生たちと交流することで、グローバル社会における「使える英語」の重要性と真の国際人のあり方について、身をもって学べる貴重な機会になっているようです。



IN MALAYSIA

AGUの
学生が
マレーシアへ!

バトゥ洞窟

旧正月の
ライオンドダンス

マレーシアの多文化を満喫

VOICE

UTARの学生たちとは、彼らの帰国後もSNSで交流を続けていました。その後、マレーシアを訪問し、Wai Seng、Yannie、Choy、Hueyと再会。一緒にショッピングをしたり、お家に泊めてもらって家族の方とも交流したりして、現地の旧正月を楽しみました。

文学部
英語英米文化学科
3年 鈴村 智里文学部
英語英米文化学科
3年 焼田 歩美ボランティアを
きっかけに続く交流

IN JAPAN

UTARの
学生が来日中の
文化交流

ゆかた体験



書道体験



茶道体験

折り紙の授業で
日本文化を体験

VOICE



Huey

日本語の授業に参加できて嬉しかったです。外国を知るには、その国の言語を身につけるのが一番だから。



Choy

AGUの多くの学生と友達になり、お互いの文化について話げできました。



Yannie

日本のいろいろな場所に行ってみたくて、このプログラムに参加。AGUの学生がとても親切で感動しました。



Wai Seng

ゆかたを着せてもらったり、座禅を組んだのは良い経験になりました。

Q & A

留学生のリアル

Check

NGUYEN THANH NHON



★ VIETNAM

グエン タン ニョンさん

PROFILE

2015年来日。充実した教育環境に魅力を感じ愛知学院大学へ。現在、文学研究科宗教学仏教学専攻博士後期課程にて「根本説一切有部 破僧事」を研究している。

Q.日本人の考え方で「素晴らしい」と思うことは？

自分のことだけでなく、まわりの人のことを思いやり気くばりをする。これは、仏教の菩薩道に通ずると思います。

Q.将来のビジョンは？

現在、博士課程で勉強中です。学んだことを生かし、将来は人に教える立場になりたいと思っています。

Q.日本に住んで大変なことは？

四季があるのは面白いですが、夏は暑く、冬は寒い。また、物価がとても高いですね。

リーズナブルで嬉しい！



第1食堂のきつねうどんが大好き。日本の麺類は薄味のものが多いけど、このきつねうどんは油揚げにしっかり甘辛い味付けがしてあって、ベトナム麺の刺激的な味に近いんです。

#おすすめ

学食メニュー

日進キャンパスは自然豊かな良い環境。特に坐禅堂の前は、静かでなんだか落ち着くスポットです。授業がない時は、ここに腰かけて本を読むのがお気に入りの過ごし方。



#AGUお気に入りの場所

INDONESIA

デヴィ プトゥリ マハラニ ルマレシさん

PROFILE

日本に来て2年半ほど。法律を学ぶ環境として高い評価を得る愛知学院大学法学部を選択。現在、法律学科2年生。将来は法律関係の仕事に就くことをめざし、学業に励んでいる。

Q.AGUの学生たちをどう思う？

最初はシャイな人が多いけど、みんな優しく、仲良くなると親密になります。

Q.日本人の考え方で「いいな」と思うことは？

一人ひとりのスペースを尊重し、できるだけ他人に迷惑をかけずルールをきちんと守るところ。

Q.この地域に住む自国出身の人との交流はありますか？

3月に卒業してしまいましたが、二人のインドネシア人学生と仲良くしていました。

ボリュームたっぷりです！

第2食堂グリルリンデンのジャンボチキンカツ定食。日本で初めて出会った味噌という調味料を使ったメニューを注文するのはチャレンジでしたが、今では大好きになりました。



#おすすめ

学食メニュー

学生スタッフL.A.としても活躍！



イングリッシュラウンジがお気に入り。日本人学生とランチをしながら英語で話したり、英語学習の相談に乗ったりして、仲のいい友達がたくさんできました。

#AGUお気に入りの場所

Topics

日本語教育センター

Center For Japanese Language and Culture (CJLC)

2018年10月に新設された日本語教育センター。学術交流協定を結ぶ提携校から受け入れている短期交換留学生への初級日本語関連教育を4名のスタッフで担当しています。「話す」「聞く」「読む」「書く」という四技能を個人の

資質や能力を十分に把握した上で基礎からじっくり指導する日本語教育に加え、日本事情を学んだり、日本人学生との交流を促す機会も用意。学内外でのさまざまな文化体験の実施や、留学生の所属大学を日本人学生に紹介する小冊子を作成して、その内容を日本語でプレゼンするという実践的な取り組みも行っています。本センターでは、今後ますます増加・多様化する交換留学生のニーズに柔軟に対応した魅力ある教育を実現していくとともに、本学における国際交流の深化と創造に積極的に貢献していきます。



国民高等学校から来たヤン ユンジョンさん(真中)とホン イェビンさん(右)

就任挨拶

INAUGURATION SPEECH

経済学研究科長

新たな時代に、経済社会の変化を見極め、
政策に強い人財を育てる



よしだ まさひこ
吉田 雅彦 教授

ベルリンの壁が壊れ冷戦構造が終わりを告げ、資本主義の勝利が到来するかに思われた「平成」。しかし、テロや移民問題、経済格差の拡大などが表面化し、資本主義は世界中で揺らいでいます。今や資本主義および市場主義はグローバリズムの下で複雑化・専門化しつつあり、経済問題の高度化に対応できる専門職業人や研究者の養成は喫緊の課題です。本研究科では新たな「令和」の時代を冷徹に見極めることができる人財の育成をめざします。

文学研究科長

良き未来を創造する
職業人・研究者の育成をめざす



こばやし たかお
小林 隆夫 教授

4月より文学研究科長を務めさせていただいております。文学研究科が1974年に開設されてから早45年という年月が経て、その間に社会はグローバル社会に突入し変容を遂げつつありますが、それも人々の不断の営為の所産であることには変わりありません。文学研究科では、人間性あふれる良き未来を創造できる優れた専門的職業人や研究者を育てるべく努力していきたいと思っております。御支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

心身科学部長

学部の特徴を活かした
教育を推進



なかしま けんいち
中島 健一 教授

心理学科・健康科学科・健康栄養学科の3学科から構成される心身科学部。学科ごとにそれぞれの特徴を持っていますが、人間の心身の健康に資する学問という共通項でつながっています。めざすのは、人間に対して「生活者」の視点を持ち、生理学、栄養学、社会環境学、心理学等々、学部の特徴を活かして複眼の視点で総合的に捉え得る人材養成の推進です。また、大学院への進学を見据えた教育の強化も必要と考えています。

法学研究科長

深い法的知識と広い視野
両者を備えた社会人育成をめざす



くりた なおき
栗田 直樹 教授

法学研究科は、税理士や研究者、公務員や民間で活躍する人材を輩出してきた長い歴史のある研究科です。その伝統を受け継ぎ発展させていくという重責を担うことになり、身の引き締まる思いです。研究科では、特に税理士試験をめざす社会人の要望に対応し、租税法の隣接領域が学べることを特色としています。修了生が、深い知識と広い視野を持った税理士や社会人として成長していけるような教育内容の提供に取り組んでいきます。

経済学部長

次の軌道に向かう経済学部を
牽引していきたい



みやはら まさと
宮原 正人 教授

愛知学院大学で最も新しい経済学部も、設立から7年目に入りました。来年度には名城公園キャンパス2期工事が完成して、1年生からの同一キャンパスで一環教育を行う環境が整います。それにより、今まで若干なりとも不便を強いていた学生にとっても、利便性が増します。この時期に本職に就任したことは、経済学部が次の軌道に向かう任の一端を担がねばならないと感じています。皆さまのご指導・ご鞭撻を切に願っております。

商学部長

進化する名城公園キャンパスで
実学教育を深める



あおき ひとし
青木 均 教授

2000年に本学に着任して以来、20年近くの月日が流れました。振り返ると、商学部は驚くほどの変化を遂げてきました。例えば2学科が1学科になり、キャンパスは日進から名城公園に移りました。しかし変化していないものもあります。それは、ビジネスパーソンを育てるための実学教育です。2020年名城公園キャンパス第2期整備事業完成を機に、益々実学教育を深めることができるよう努力して参ります。

新任教員紹介

(2018年5月以降を含む)

NEW PROFESSOR INTRODUCTION

本学教師陣に加わった先生方を紹介します。

心身科学部

すぎうら はるお
杉浦 春雄 教授

最終学歴
日本体育大学大学院体育学研究科、
博士(医学)



文学部

ながい けんじ
長井 謙治 准教授

最終学歴
東京大学大学院新領域創成科学
研究科、博士(環境学)



総合政策学部

ないき えりこ
内木 栄莉子 講師

最終学歴
同志社大学大学院経済学研究科、
博士(経済学)



経営学部

もりた だいすけ
森田 大輔 講師

最終学歴
摂南大学大学院工学研究科、
博士(工学)



薬学部

かみの しんいちろう
神野 伸一郎 教授

最終学歴
大阪薬科大学大学院薬学研究科、
博士(薬学)



薬学部

やまもと せいじ
山本 清司 講師

最終学歴
名古屋市立大学大学院薬学研究科、
博士(薬学)



歯学部

たかはし まりこ
高橋 真理子 准教授

最終学歴
東邦大学医学部、博士(医学)



薬学部

かわはら まさみ
河原 昌美 教授

最終学歴
金沢大学大学院自然科学研究科
生命薬学専攻、博士(薬学)



歯学部

はせがわ しょうご
長谷川 正午 講師

最終学歴
愛知学院大学大学院歯学研究科、
博士(歯学)



歯学部

ながい あきこ
永井 亜希子 准教授

最終学歴
東京医科歯科大学大学院医歯学
総合研究科、博士(医学)





歯学部

いまざわ まさひこ
今澤 正彦 講師

最終学歴
名古屋大学大学院医学系研究科機能構
築医学専攻病態制御外科学、博士(医学)



歯学部

おくだ まさひろ
奥田 真弘 教授

最終学歴
三重大学大学院医学研究科、
博士(外科系麻酔学)



教養部

ヘザー、ドイロン
H.ドイロン 外国人教師

最終学歴
ニューブランズウィック大学大学院
(カナダ)、修士(教育学)



教養部

うちだ やすひろ
内田 康弘 講師

最終学歴
名古屋大学大学院教育発達科学
研究科、博士(教育学)



短期大学部

あいほら よしこ
相原 喜子 講師

最終学歴
愛知学院大学大学院歯学研究科、
博士(歯学)



AG NEWS FLASH

参加	………	青山 稔
“	………	長谷川 裕一
“	………	高木 通吉
会計監査	………	鈴木 理元
“	………	飯田 展弘
会計	………	加藤 幸人
課外活動部長	………	山本 邦夫
教育部長	………	伊藤 浩治
施設部長	………	上村 誠一郎
厚生部長	………	柴田 敬介
総務部長	………	伊藤 貴志
支部活動部長	………	宮脇 利明
“	………	山本 尚之
“	………	井上 雅夫
副会長	………	大原 敏正
会長	………	阿部 恵彦

平成31年度 大学後援会本部役員(敬称略)

今年度、後援会長に就くこととなりました阿部恵彦と申します。微力ではございますが、保護者代表として、後援会の役員・事務局の皆様方と共に、保護者目線から学生の皆様が輝き、充実した大学生活を送られるよう、努力して参ります。複雑化する社会の中、学部、年代、立場によって学生の皆さんの目標や抱える悩みも違います。これらを解決する一助として、後援会では最重要事業である、支部懇談会を今年度から「保護者相談会」と名を変え、全国32会場に大学職員と共



平成31年度 大学後援会総会開催

会長の阿部恵彦氏より
ご挨拶



に赴きます。その場合は、保護者の皆様から貴重なご意見をいただくほか、成績、学生生活、健康面、就職などのご質問を受け、大学側へ伝える機会となっております。ほかにも、「大学だより」の発行、成績表発送などの情報発信、大学公認クラブへの活動費助成、奨学金はじめ災害共済会助成、そして海外語学留学、永平寺一夜参禅、教育施設、厚生施設などに対する助成、さらには就職斡旋、学生健康診断など、学生が安心して学生生活が送れるよう多岐に渡る支援をしていきます。大学は学問知識の修得だけが学生生活ではありません。豊かな人間性、立派な社会人として成長するためには大学と保護者が協力し「大学・本人まかせ」ではなく、家庭と密に連絡を取り、教育や指導に万全を期す必要があるからです。それが開学当初から「親子入学」と称して後援会を組織している理由です。この精神は本学を支える柱になっています。保護者皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。



ウェスタン健康科学大学で アメリカ薬学研修を実施しました

2月11日(月)から2月25日(月)にかけ、本学薬学部学術交流協定校であるアメリカのウェスタン健康科学大学にて、海外薬学研修を実施しました。研修には12名の学生が参加。アメリカ医療に関する講義や現地学生を交えたディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション等を行なったほか、大学内や病院、調剤薬局といった医療施設を見学し、日本との違いについて学ぶ充実した時間を過ごしました。今回で2回目となったアメリカでの研修。今後も内容をアップデートして継続的に実施してまいります。



「学生のための安全管理講習会」 を実施しました

3月12日(火)、全大学公認クラブの学生責任者を対象に安全管理講習会を実施しました。尾三消防本部日進消防署の方々による「救命入門コース」の講習会では、基本的な心肺蘇生法の実技、AEDを使用するために必要な知識と技術を学生たちが修得。また、法務支援センター田中淳子教授による「学生の飲酒について」の講義では、飲酒により生命・健康の被害を与えた場合の法的責任などを具体的な例をもとに学習しました。今回、学んだことを各クラブ内で共有し、危機管理意識を学生一人ひとりが強く持って、大学生として自覚ある行動を取って欲しいと思います。



石川県と 「県内就職支援に関する協定」を締結

石川県の地域経済を支える人材の育成・確保に向け、本学と石川県は相互に連携・協力することに合意。4月1日(月)、「県内就職支援に関する協定」を締結しました。これにより、県内の企業情報、合同企業説明会等イベントの開催、学生向け就職情報提供サービスなど、本学と石川県が相互に連携・協力した就職支援を実施していきます。また、石川県での暮らしに関するメリットや魅力なども同時に発信することにより、石川県内の就職希望者が増加することも期待されます。官学連携によりUターン就職の促進を図ることで学生たちの将来の可能性を広げるほか、地域活性化にも一役買う取り組みとして、力を入れていきます。



シーホース三河のホームゲームで 「愛学XウォーカーDAY」を開催

「愛学XウォーカーDAY」は、本学が運営サポートを行なっているプロバスケットボールチーム「シーホース三河」のホームゲームの演出やファンサービス、イベントなど全てを学生が企画するプログラムです。今年のテーマは、「BLUESTORY〜あなたの青援が物語に〜」。心身科学部健康科学科内藤正和講師のゼミ生10名が、チームスタッフに向けた企画プレゼンから始め、選手への取材、ブース出展店舗や団体との交渉、演出、広報、事前の準備などに取り組みました。試合当日、3月2日(土)〜3日(日)には、本学の部活動クラブによる「AGUSTEJ」や学生有志によるフラッシュモブ、学生考案のオリジナルTシャツ・リボンバンドの販売などを実施。多くのお客様を笑顔にするおもてなしができました。



心身科学部心理学科の吉川吉美教授が ダナン大学・師範大学(ベトナム)の 教員に臨床動作法を指導しました

吉川教授は、2009年よりベトナム中部地域の障がい児者およびその保護者・家族に対して、臨床動作法を通じた支援活動を実施しており、今回の取り組みは現地で支援者養成を目指したものです。JICAが支援する「2017年度第1回 草の根協力支援型」に採択されています。参加したダナン大学・師範大学の教員の方々は、吉川教授の臨床の様子を見学し臨床動作法についての理解を深めたほか、障がい者のために考案されたスポーツ「ボッチャ」を体験しました。本学では、今後も継続的に国際貢献活動を実施していきます。今後の活動にもご期待ください。



各キャンパスで 大学後援会が健康のサポート

学生の健康サポートのため、大学後援会の助成により特別価格にて食事が提供されました。楠元キャンパスでは2月4日(月)〜28日(木)の間、国家試験に向けて勉学に励む薬学部・歯学部・短期大学の学生たちのためにカフェテリアにて夕食セットを2000円で提供。日進キャンパス・名城公園キャンパスでは、4月4日(木)〜4月26日(金)にかけ「朝食を食べる習慣」を身につけ、生活の基盤が作れるよう朝食100円モーニングを提供。たくさんのお客様の学生たちの利用により、各キャンパスで大盛況のうち終えることができました。



平成31年各種国家試験の 結果報告

平成31年実施の各種国家試験の結果が厚生労働省より発表されました。本学では、管理栄養士国家試験・歯科衛生士国家試験で新卒者の合格率が100%となる大変優秀な結果を収めたほか、言語聴覚士・薬剤師国家試験で全国平均を上回る高い合格率となりました。各試験の試験結果と合格率(新卒者は次の通りです)。

	受験者数	合格者数	合格率
管理栄養士国家試験	61名	61名	100%
歯科衛生士国家試験	92名	92名	100%
言語聴覚士国家試験	36名	34名	94.4%
薬剤師国家試験	102名	96名	94.12%
歯科医師国家試験	83名	63名	75.9%

シューカツの現場から

VOL.17

MESSAGE FROM CAREER CENTER



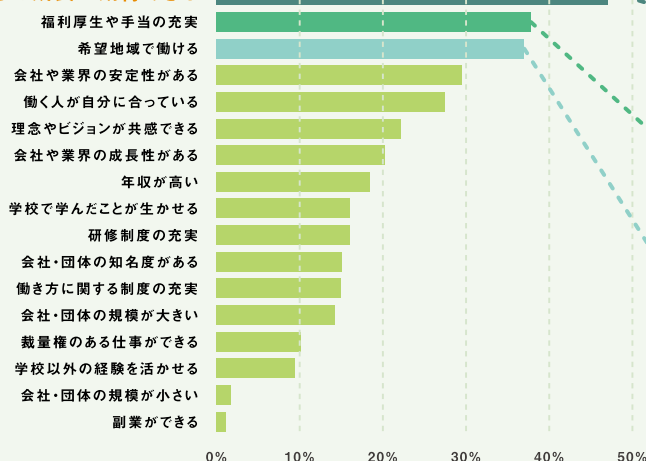
今回のお題

就職先の決め手は？

3月の採用広報活動開始から3カ月が経ち、4年生の中には、すでに複数の内定を持つ人や内定獲得後も納得がいくまで就職活動が続ける者もいるようです。しかし、最終的に就職できるのは当然1社のみ。その決断に迫られたとき、学生たちは就職先の何を重視して「決め手」としたのか。データから読み解いてみましょう。

就職先を確定する決め手になった項目を教えてください
(複数選択 / n=978)

自らの成長が期待できる



成長期待
47.1%

やりたいこと、なりたい自分像を実現するため、自分が成長できる環境に身を置きたかったから(男性)

仕事を通じて得られるものがある環境にいないれば、社会人として生き残れないと考えたから(男性)

福利厚生・手当
37.8%

福利厚生に多く投資できる企業は、社員を大切にしてくれていると感じ取るから(男性)

女性としての人生を考えると、福利厚生が充実している企業の方が長く働くことができるから(女性)

希望する地域
37.0%

慣れない土地での生活や全国転勤に抵抗があり、勤務地が選べるのが決め手になった(女性)

転勤や出向が多いと働きづらいので、希望制の会社を選択した(男性)



出展：就職みらい研究所 <https://data.recruitcareer.co.jp/column/20190131001/>

「成長」と「働く環境」。

長期的視野で企業や職場を判断。

2 019年卒業生に対して「就職先を確定する際に、決め手になった項目」を尋ねたアンケート結果では、「自らの成長が期待できる」ことを最重視した学生が47.1%と約半数が回答する結果となっています。次いで「福利厚生(住宅手当等)や手当が充実している」37.8%、「希望する地域で働ける」37.0%が続き、多くの学生が働く環境を重視していることがわかります。

内定後に再度「企業研究と自己分析」に 取り組み、本心と向き合う。

判 断に迷ったら、内定後に冷静になってもう一度企業を調べましょう。仕事内容・社風・業界の将来性や企業の安定性・勤務条件・福利厚生などの項目を洗い出し、内定企業のメリット・デメリットを視覚化するのもひとつの方法です。自分の選んだ判断項目に優先順位をつけて、どの部分に重きを置くのかを考えてみてください。そして、再度「自己分析」を行い、思い描く将来像などとその企業がマッチするかどうか、自分の本心と向き合うことが必要です。悩んだときにはキャリアセンターにお越しください。納得できる就職活動となるように、アドバイスします。

【例】	A社	B社
仕事内容	○	△
企業・業界の安定性	△	△
給与	△	○
社風	○	△
勤務地	×	△



キャリアセンター伝言板

今後の行事予定

- | | |
|----|--|
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学内単独企業説明会 (4年生対象・随時開催) ● 第2回就職ガイダンス (3年生対象) ● 保護者相談会 (保護者対象・全国各会場) |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ● インターンシップ事前研修 (2・3年生参加者対象) |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 夏季インターンシップ (2・3年生対象) ● SPI・筆記試験対策講座 (3年生対象) ● 自己分析講座 (3年生対象) ● 日経新聞の読み方講座 (3年生対象) |

アイガク
仕事図鑑

AIGAKU OB&OG

GRADUATE
REPORT01
PERSON

SOCCER PLAYER

KEI
CHINEN

手を抜かず、

日々の練習に全力で取り組む。

KAWASAKI
Frontale

川崎フロンターレ/FW

知念 慶

法学部 2017年卒

サッカー部の恩師の
後押しで入団を決意。

愛知学院大学サッカー部からプロの道に進む際、支えになってくれたのは恩師である境田監督です。実業団チームへの入団が決まりかけていた頃、川崎フロンターレからオファーを受け練習に参加したものの全く通用せず、プロとしてやっていく自信が持てませんでした。そこで監督に相談すると、「強いチームに行った方が伸びるぞ」と言ってくれたそうです。その言葉に背中を押され、フロンターレへの入団を決意。実際、足元の技術や判断力など技術的なことはもちろん、選手一人一人の意識が高いプロ集団であるこ

とを実感しています。体づくりは最低限の取り組みで、技術的な進化や得点につながるプレーを磨くためのハイレベルな練習を積み重ねる毎日。2018年シーズンは、開幕からスタメン出場するなど個人的には調子のいい滑り出しでしたが、大事なゲームで決めきれず落ち込むこともありました。でも、あの経験が今後の糧になるはず。今、チームには前線にもベンチにもいい選手がたくさんいます。試合に出て結果を出すために、まずはチーム内の競争を勝ち抜くことが目標ですね。そのために、手を抜かず日々の練習に全力で取り組む。当たり前のことを当たり前にする。それが僕のプロとしてのこだわりです。

PROFILE

ちねん・けい / 1995年、沖縄県島尻郡出身。愛知学院大学時代に頭角を現し川崎フロンターレに入団。左右両足、得意のヘッドでシュートを狙うゴールゲッター。

愛知学院大学サッカー部では、プロ選手としての基礎力を身につけました!



MEMORIES ALBUM

サッカー部の仲間と
筋トレに励んだ日々

授業の合間などにAGUスポーツセンターのトレーニングルームに通って、筋トレに励んでいたのはいい思い出です。サッカー部の仲間が誘ってくれたので、怠け者の僕もしっかり体づくりができたんです(笑)。



ハタラキ哲学

仕事のこだわりやアイテムをご紹介します!

PUMAの
黒いスニーカー

試合のある日、スタジアムに行く時に履く靴は、PUMAの黒いスニーカーと決めています。

公式戦で初得点を決めた時に、これを履いていたのがきっかけ。以来、ゲンを担いで同じモデルを履き続けているんです。いわば必勝アイテムですね。

